

(6-1) 児童生徒の自殺の状況

(単位:人)

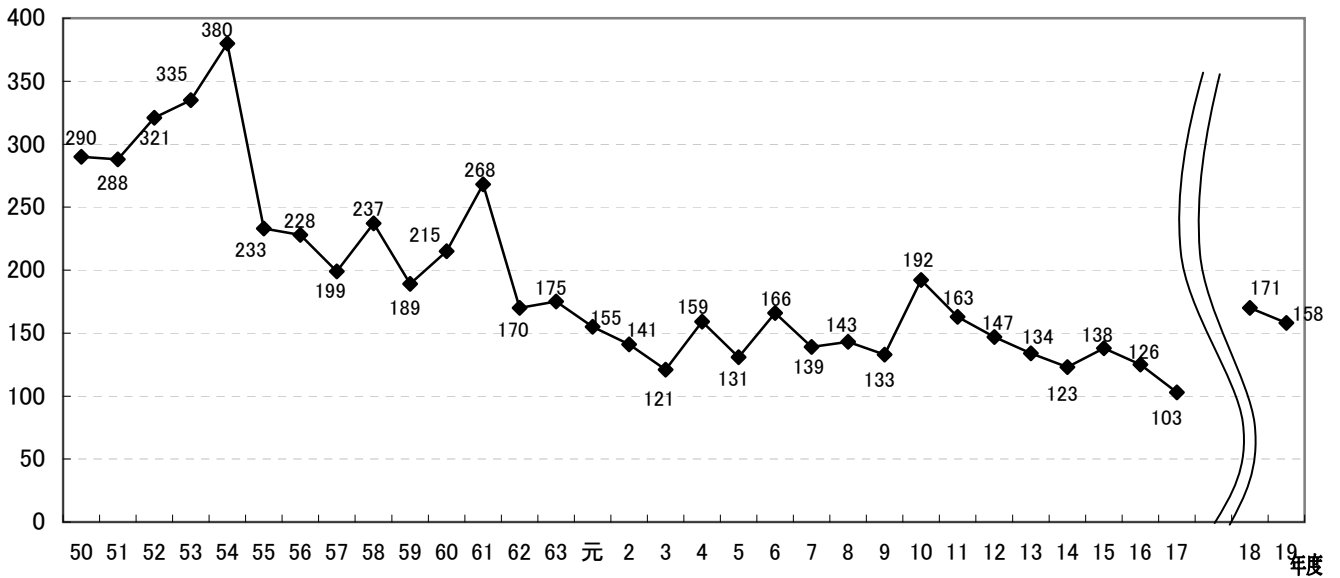
区分	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10
総数	277	290	288	321	335	380	233	228	199	237	189	215	268	170	175	155	141	121	159	131	166	139	143	133	192
小学生	-	-	-	10	9	11	10	8	8	6	12	11	14	5	10	1	5	5	3	4	10	3	9	6	4
中学生	69	79	72	89	91	104	59	74	62	83	66	79	110	54	62	53	35	43	68	40	69	59	41	41	69
高校生	208	211	216	222	235	265	164	146	129	148	111	125	144	111	103	101	101	73	88	87	87	77	93	86	119

区分	11	12	13	14	15	16	17	18	19
総数	163	147	134	123	138	126	103	171	158
小学生	2	4	4	3	5	4	3	2	3
中学生	49	49	37	36	35	31	25	41	34
高校生	112	94	93	84	98	91	75	128	121

(注1) 昭和51年までは公立中・高等学校を調査。昭和52年からは公立小学校、平成18年度からは国・私立学校も調査。

(注2) 昭和49年から62年までは年間の数、昭和63年以降は年度間の数である。

(注3) 平成19年度総数の内訳は、国立2人、公立126人、私立30人である。

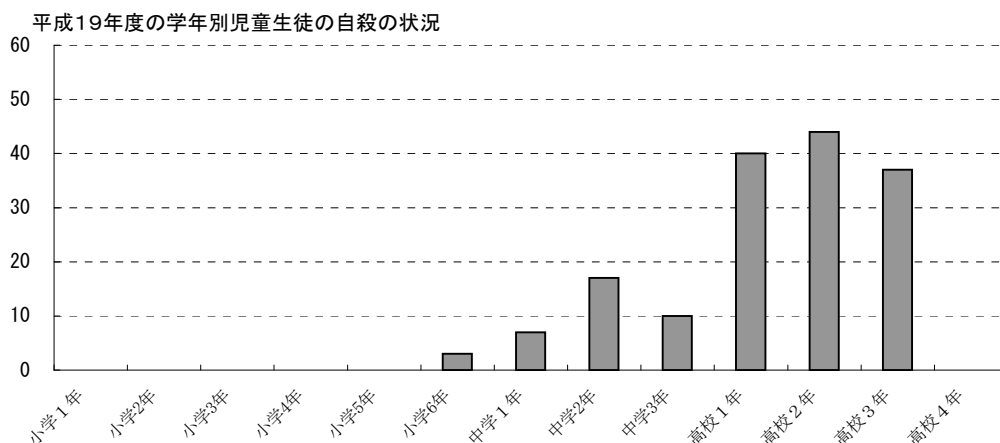


(6-2) 自殺した児童生徒の学年別、男女別内訳 (人)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
小学校	0	0	0	0	0	3	3
(男子)	0	0	0	0	0	2	2
(女子)	0	0	0	0	0	1	1

	1年	2年	3年	計
中学校	7	17	10	34
(男子)	6	13	2	21
(女子)	1	4	8	13

	1年	2年	3年	4年	計
高等学校	40	44	37	0	121
(男子)	26	27	25	0	78
(女子)	14	17	12	0	43



(6-3) 自殺した児童生徒が置かれていた状況

	小学校		中学校		高等学校		計	
	人数 (人)	構成比 (%)	人数 (人)	構成比 (%)	人数 (人)	構成比 (%)	人数 (人)	構成比 (%)
家庭不和	0	0.0%	5	14.7%	11	9.1%	16	10.1%
父母等のしっ責	0	0.0%	5	14.7%	7	5.8%	12	7.6%
学業不振	0	0.0%	4	11.8%	4	3.3%	8	5.1%
進路問題	0	0.0%	1	2.9%	8	6.6%	9	5.7%
教職員との関係での悩み	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
友人関係での悩み (いじめを除く)	0	0.0%	2	5.9%	6	5.0%	8	5.1%
いじめの問題	0	0.0%	1	2.9%	4	3.3%	5	3.2%
病弱等による悲観	0	0.0%	1	2.9%	1	0.8%	2	1.3%
厭世	0	0.0%	1	2.9%	13	10.7%	14	8.9%
異性問題	0	0.0%	2	5.9%	4	3.3%	6	3.8%
精神障害	0	0.0%	2	5.9%	18	14.9%	20	12.7%
不明	3	100.0%	21	61.8%	64	52.9%	88	55.7%
その他	0	0.0%	1	2.9%	8	6.6%	9	5.7%

(注1) 調査対象: 国公立小・中・高等学校

(注2) 複数回答可とする。

(注3) 構成比は、各区分における自殺した児童生徒数に対する割合